

ダラザレックス治療開始に向けての当院での事前取り組み

◎山田 恵美子¹⁾、中條 晶子¹⁾、金田 健太郎¹⁾
福井県済生会病院¹⁾

【はじめに】

多発性骨髄腫治療薬として抗 CD38 モノクローナル抗体 (Daratumumab) が 2017 年 11 月販売開始となった。

CD38 は、赤血球膜表面にも低発現しており、間接抗グロブリン試験において偽陽性を示す。ダラザレックス治療前には、輸血前検査の実施が必要であると、注意がされている。

【目的】

①ダラザレックス治療開始予定の患者を把握する。②輸血前検査 (血液型及び不規則抗体検査) を実施する。

【取り組み】

①輸血療法委員長 (腫瘍内科) と、ダラザレックス治療開始において、輸血に関することの注意点やお願い・問題点について話し合いをした。②薬剤師さんから、ダラザレックス治療薬についての勉強会を開催。③血液内科カンファレンスへの参画。

【輸血部門での対策】

①患者名簿の作成。②輸血伝票に、ダラザレックス治療開始

の印字。③輸血検査結果 (時系列) の記載、DTT 処理方法などのファイルを作成。

【対応の実際】

2017 年 11 月～2018 年 6 月、治療開始患者 10 名。輸血使用患者 3 名。

【まとめ】

ダラザレックス治療開始にあたり、医師と、問題点・注意点などについて話し合い検討を行った。治療開始患者を事前に把握することで、不要な労力をかけずに、適切な輸血検査を行うことができた。今後も、医師や薬剤師と連携を深め、より安全で適切な輸血療法を提供できるように取り組んでいく

(連絡先) 0776—23-1111